

# 9月の飲食料品値上げ、 1422品目 9カ月連続で前年上回る

2025年の値上げ、2年ぶり2万品目突破  
秋に大規模な値上げラッシュ見込む

## 「食品主要195社」価格改定動向調査 — 2025年9月



本件照会先

飯島 大介（調査担当）  
帝国データバンク  
東京支社情報統括部  
03-5919-9343（直通）  
情報統括部：tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/08/29

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## 次回調査の公表予定

2025年10月の発表は  
2025年9月30日(火)午前9時

## SUMMARY

2025年9月の飲食料品値上げは、合計1422品目となった。食品分野別では、たれ製品やソース、マヨネーズ、ドレッシング類を中心とした「調味料」(427品目)が最多となった。通年では、2025年の値上げは11月までの公表分で累計2万34品目となった。前年の実績(1万2520品目)を60.0%上回り、2023年(3万2396品目)以来、2年ぶりに2万品目を超えた。

株式会社帝国データバンクは、2025年9月以降における食品の値上げ動向と展望・見通しについて、分析を行った。

[注]

品目数および値上げは、各社発表に基づく。また、年内に複数回値上げを行った品目は、それぞれ別品目としてカウントした。値上げ率は発表時点における最大値を採用した。なお、価格据え置き・内容量減による「実質値上げ」も対象に含む。

## 2025年9月の値上げ、1422品目9カ月連続で前年上回る

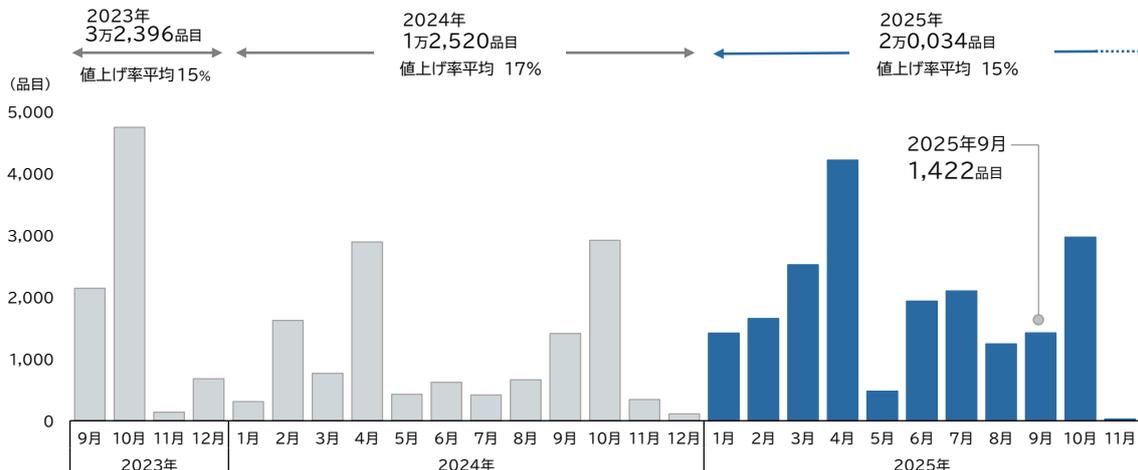
主要な食品メーカー195社における、家庭用を中心とした9月の飲食料品値上げは1422品目、値上げ1回あたりの値上げ率平均は14%となった。前年9月(1414品目)から+8品目・+0.6%と9カ月連続で前年を上回り、連続増加期間としては前月に続き、2022年の統計開始以降で最長を更新した。また、単月の値上げ品目数としては4カ月連続で1千品目を超えた。

2025年9月の値上げを食品分野別に集計すると、たれ製品やソース、マヨネーズ、ドレッシング類を中心とした「調味料」(427品目)が最多となった。「加工食品」(338品目)は、各種冷凍食品や水産練り製品などが多かった。「菓子」(291品目)ではチョコレートやポテトチップス類のほか、「乳製品」(138品目)を含め冷凍製品で一斉値上げとなった。また、「原材料」(205品目)はキャノーラ油製品で一斉値上げとなり、同分野としては11カ月ぶりに単月で100品目を超えた。

2025年通年の値上げは、11月までの公表分で累計2万34品目となった。前年の実績(1万2520品目)を60.0%上回り、2023年(3万2396品目)以来、2年ぶりに2万品目を超えた。1回当たり値上げ率平均は15%と、前年(17%)をやや下回る水準が続いた。食品分野別では「調味料」(6148品目)が最も多く、前年(1715品目)から+4433品目・+258.5%と大幅に増加したほか、年間では2022年以降で2番目に多い水準となった。「酒類・飲料」(4801品目)は、清涼飲料水のほか、ビール、清酒、焼酎、ワインといった洋酒など広範囲で値上げとなり、前年比で8割を超える大幅増となった。「加工食品」(4532品目)は、冷凍食品やパックごはん、海苔などの値上げが目立った。2025年における飲食料品値上げの勢いは前年に比べて強い状態が続いている。

値上げ要因では、原材料の価格高騰に加え、光熱費の上昇による生産コスト増、人手不足による労務費の上昇、物流費の上昇などが複合的に重なった。原材料などモノ由来(「原材料高」)の値上げが全体の97.3%を占めたほか、「エネルギー(光熱費)」(65.5%)、「包装・資材」(60.0%)、「物流費」(80.3%)、「人件費」(54.2%)など、主要な値上げ要因ではいずれも半数を超えた。特に「物流費」「人件費」はともに前年から大幅に増加した一方、「円安」を要因とする値上げ(12.0%)は前年から大幅に低下しており、飲食料品の値上げは内的要因による物価上昇に起因したものにシフトしている。

月別値上げ品目数 推移(27カ月推移・8月29日時点)



[注] 主に全国展開を行う上場・非上場の主要195社の2022-25年価格改定計画。実施済みを含む。品目数は再値上げなど重複を含む

## 今後の見通し

### 10月は半年ぶり3千品目台見込む 値上げは「常態化」へ

2025年の飲食料品値上げは、原材料高に加えて物流費や賃上げによる労務費など、粘着性が高く、国内の経済情勢に起因した圧力が強まっている。国際的な小麦・食用油や原油価格の急騰、急激な円安による輸入物価の上昇など、一過性とみられた外的要因による物価高が主だった2023年～2024年前半の値上げラッシュから、持続的で内的要因によるインフレ傾向に変化した。そのため、継続的な価格引き上げが不可欠となっていることも、比較的低位に抑制された前年から値上げ品目数が大幅に増加する要因となっている。

足元では、2025年度の最低賃金は全国加重平均(目安)で1118円・前年度比6.0%の引き上げとなり、全都道府県で最低賃金が千円台に到達する見通しのほか、物流費でも「2024年問題」をはじめドライバー不足を背景に運賃引き上げが続き、賃金上昇→物価上昇の内的要因によるインフレ傾向も出始めている。そのため、これまでの一時的なコストプッシュに対応するための値上げ措置から、恒常的なコスト増を想定した継続的な値上げ戦略へ移行する動きもみられ、飲食料品における値上げは長期かつ恒常化する可能性が高いとみられる。

先行きでは、10月の食品値上げ予定品目数が今年4月以来となる3千品目超えとなる見通し。通年の値上げ品目は、飲食料品の値上げラッシュが本格化した2022年(2万5768品目)の水準に並ぶ可能性がある。

#### 値上げ要因・食品分野別の品目数動向

値上げ要因の推移(品目数ベース)

	2025年	2024年	2023年
	1-11月	1-12月	1-12月
原材料高	97.3%	92.2%	96.2%
エネルギー	65.5%	60.6%	80.6%
包装・資材	60.0%	68.5%	60.6%
物流費	80.3%	68.1%	58.4%
円安 (為替の変動)	12.0%	28.1%	11.4%
人件費	54.2%	26.5%	9.1%

[注] 値上げ要因には一部重複を含む

食品分野別の値上げ品目数(2022年～2025年)

	2025年		2024年	2023年	2022年
	品目数 (判明分)	値上げ率	うち9月 品目数	1-12月 品目数	1-12月
加工食品	4,532	16%	338	5,757	11,838
調味料	6,148	13%	427	1,715	8,052
酒類・飲料	4,801	20%	23	2,652	6,175
菓子	1,261	18%	291	1,307	2,270
乳製品	1,411	9%	138	392	1,533
パン	1,440	6%	0	108	1,663
原材料	441	14%	205	589	865
合計	20,034	15%	1,422	12,520	32,396

[注] 2025年は1-11月の判明分

## 参考：月別の値上げ品目数推移（～2025年11月）

年月	食品分野別							単位:品目	
	合計	加工食品	調味料	酒類・飲料	菓子	乳製品	パン	原材料	
2022年	25,768	9,468	5,953	5,063	1,967	1,225	1,494	598	
2023年	32,396	11,838	8,052	6,175	2,270	1,533	1,663	865	
2024年	12,520	5,757	1,715	2,652	1,307	392	108	589	
2025年	20,034	4,532	6,148	4,801	1,261	1,411	1,440	441	
2023年	8月	1,197	202	409	47	179	360	0	0
	9月	2,148	541	1,257	89	213	39	0	9
	10月	4,758	891	306	3,198	193	50	0	120
	11月	139	5	39	77	18	0	0	0
	12月	678	1	505	0	5	167	0	0
2024年	1月	310	96	64	21	1	6	0	122
	2月	1,626	643	545	166	130	56	0	86
	3月	767	444	66	73	149	35	0	0
	4月	2,897	2,087	369	315	126	0	0	0
	5月	427	97	0	261	3	0	0	66
	6月	623	329	30	37	138	80	0	9
	7月	418	82	4	199	75	4	40	14
	8月	661	319	56	60	143	2	29	52
	9月	1,414	757	193	135	191	99	39	0
	10月	2,924	686	301	1,362	237	100	0	238
	11月	344	126	80	23	103	10	0	2
	12月	109	91	7	0	11	0	0	0
2025年	1月	1,419	58	0	0	87	10	1,264	0
	2月	1,656	589	357	266	329	96	0	19
	3月	2,529	1,381	14	534	140	284	176	0
	4月	4,225	659	2,034	1,222	70	207	0	33
	5月	478	137	192	48	14	14	0	73
	6月	1,940	755	963	33	76	113	0	0
	7月	2,105	117	1,445	206	196	75	0	66
	8月	1,245	171	470	181	19	359	0	45
	9月	1,422	338	427	23	291	138	0	205
	10月	2,989	327	246	2,262	39	115	0	0
	11月	26	0	0	26	0	0	0	0
前年(同月)比								単位:%	
2022年	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年	25.7	25.0	35.3	22.0	15.4	25.1	11.3	44.6	
2024年	△ 61.4	△ 51.4	△ 78.7	△ 57.1	△ 42.4	△ 74.4	△ 93.5	△ 31.9	
2025年	60.0	△ 21.3	258.5	81.0	△ 3.5	259.9	1233.3	△ 25.1	
2023年	8月	△ 52.4	△ 90.0	770.2	30.6	△ 54.5	-	△ 100.0	-
	9月	△ 26.4	△ 52.5	22.0	140.5	△ 53.0	△ 82.7	-	△ 75.7
	10月	△ 39.5	△ 55.9	△ 83.4	△ 15.4	12.9	4.2	-	1400.0
	11月	△ 91.2	△ 98.1	△ 92.3	△ 70.7	△ 72.7	△ 100.0	-	△ 100.0
	12月	240.7	-	320.8	△ 100.0	△ 50.0	406.1	-	△ 100.0
2024年	1月	△ 57.1	△ 74.9	△ 64.4	133.3	△ 98.8	-	△ 100.0	100.0
	2月	△ 71.2	△ 79.5	△ 60.9	△ 79.2	△ 37.8	180.0	△ 100.0	8.9
	3月	△ 78.1	△ 75.0	△ 86.2	△ 85.3	△ 75.7	84.2	△ 100.0	△ 100.0
	4月	△ 46.4	△ 8.3	△ 63.9	△ 66.8	△ 60.1	△ 100.0	-	△ 100.0
	5月	△ 49.0	△ 46.1	△ 100.0	△ 32.7	△ 92.5	△ 100.0	△ 100.0	-
	6月	△ 83.5	△ 79.6	△ 98.2	△ 60.6	△ 12.7	116.2	△ 100.0	△ 95.4
	7月	△ 88.4	△ 90.2	△ 99.4	521.9	△ 69.0	△ 90.2	△ 97.5	△ 94.0
	8月	△ 44.8	57.9	△ 86.3	27.7	△ 20.1	△ 99.4	-	-
	9月	△ 34.2	39.9	△ 84.6	51.7	△ 10.3	153.8	-	△ 100.0
	10月	△ 38.5	△ 23.0	△ 1.6	△ 57.4	22.8	100.0	-	98.3
	11月	147.5	2420.0	105.1	△ 70.1	472.2	-	-	-
	12月	△ 83.9	9000.0	△ 98.6	-	120.0	△ 100.0	-	-
2025年	1月	357.7	△ 39.6	△ 100.0	△ 100.0	8600.0	66.7	-	△ 100.0
	2月	1.8	△ 8.4	△ 34.5	60.2	153.1	71.4	-	△ 77.9
	3月	229.7	211.0	△ 78.8	631.5	△ 6.0	711.4	-	-
	4月	45.8	△ 68.4	451.2	287.9	△ 44.4	-	-	-
	5月	11.9	41.2	-	△ 81.6	366.7	-	-	10.6
	6月	211.4	129.5	3110.0	△ 10.8	△ 44.9	41.3	-	△ 100.0
	7月	403.6	42.7	36025.0	3.5	161.3	1775.0	△ 100.0	371.4
	8月	88.4	△ 46.4	739.3	201.7	△ 86.7	17850.0	△ 100.0	△ 13.5
	9月	0.6	△ 55.4	121.2	△ 83.0	52.4	39.4	△ 100.0	-
	10月	2.2	△ 52.3	△ 18.3	66.1	△ 83.5	15.0	-	△ 100.0
	11月	△ 92.4	△ 100.0	△ 100.0	13.0	△ 100.0	△ 100.0	-	△ 100.0